

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「新しい生活様式」

先日、全国の緊急事態宣言が解除され、新たな日常を取り戻していくスタートの日、と安倍首相の言葉がありました。「三密」の回避、手洗い、マスクの着用、食事は並んで、おしゃべりはしない。感染予防のガイドラインに沿った「新しい生活様式」は、いままで経験したことのないものです。それぞれ業種の違いがありますが、これからの「働き方」も変わっていきます。その代表がテレワーク。「テレワークなんて、ウチは関係ないよ」「現場に行く仕事だからテレワークは無理」そんな話をお伺いすることがありますが、だからといってこのような変化に関心を持たないわけにはいかないと 생각합니다。

アップルの創業者、スティーブ・ジョブズは、パソコンの処理能力がまだ高くない時代から、遠くない将来に性能は飛躍的に上がると言っていたそうです。現在では、普通のパソコンでも一昔前の高性能コンピュータ（ワークステーション）と大きく変わらないほどの処理能力を持つようになりました。また、パソコンに搭載されているCPUメーカーのインテル創業者ゴードン・ムーアは、「半導体の性能は18ヶ月で2倍となる」と半導体技術の進歩について唱えていたそうです。（ムーアの法則）

その後、パソコンも半導体も目覚ましい進化を遂げながら、現在に至っています。「パソコンなんて関係ないよ、ウチは使わないから」そんな風に言っていた人も今は、それらを使いこなし、業務効率をアップさせ、販促にも利用していると思います。

このように広く世の中の人が使うようになると、その技術やインフラは目覚ましく進化します。Zoom やスカイプなどのWeb会議サービス、4Gから5Gへの高速通信はまだ一般的ではありませんが、それも時間の問題だと思います。テレワークとは無縁と思っている、それが発展することにより、周辺の技術やサービスが進化していくことを押さえておく必要があるのではないのでしょうか。

人と距離をとらなければいけない世の中になったら、ユーザーとのやりとりは、リアルタイムのストリーミング配信が当たり前になるかも知れません。今までは、その場でないと受けられないと思われていたサービスが、行く必要がなくなるということもあるでしょう。人と人との接触を減らすと、本当にいろいろな仕組みが変わります。それを新たなビジネスチャンスととらえ、日々のぎを削っている様々な企業から、新サービスが登場してくると思います。

今年の初めは、この新型コロナウイルスが私たちの生活にこれほど影響を与えろとは夢にも思いませんでした。対岸の火事、他人事だと思っていたときから、まだ数か月しか経過していないことに驚きます。来年どうなるのか、誰も予想できない時代。この変化に遅れないように、まずは、「アンテナ」を張っておくことが重要だと思います。

二十一世紀に重要なスキルはただひとつ、新しいスキルを学ぶスキルだ。（ピーター・ドラッカー）

やるのもやらないのも自分次第。まずは小さなイノベーション、「新しい気づき」で新サービスや提供の仕方を考えるよい機会だと思います。

